

# 徹底しよう! トラクターの安全対策

## 目指せ! 農作業事故ゼロ

春・秋はトラクターを利用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります!  
次のポイントを守り、安全・安心な農作業を実践しましょう!

### ①作業前における機械の点検・整備および周辺環境の確認はしっかり行いましょう!

傾斜地だけでなく、平地でも条件によっては転倒します。  
作業前にほ場内の凹凸や軟弱状態などを確認し、安全な操作をしましょう。

### ②可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう!

安全フレーム  
の効果



- 転落・転倒時に、安全フレームは「安全域」を確保してくれます。
- 安全域にとどまるためには、シートベルトの着用が必須です。

### ③シートベルトは必ず締めましょう!

シートベルトを着用することで大幅に死亡事故を減らすことができます。あわせて頭部を守るため、ヘルメットも着用しましょう。

農耕作業用特殊車乗員のシートベルト着用の有無ごとの死傷の状況  
(平成27～令和元年)

シートベルト  
着用時と非着用時  
で死亡率に約8倍  
の差があります!

(公財)交通事故総合分析センターの集計結果より農林水産省作成

	死亡者	重傷者	軽症者	合計
シートベルト着用	3 (3.2%)	10 (10.8%)	80 (86.0%)	93
非着用	148 (24.5%)	175 (29.0%)	281 (46.5%)	604
不明	5 (10.2%)	24 (49.0%)	20 (40.8%)	49
合計	156	209	381	746

### ④作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう!

ほ場退出以降も連結せず誤って片ブレーキにすると、急旋回・転落となることがあり危険です。

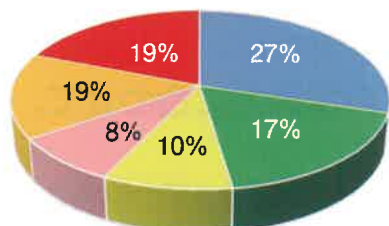
### ⑤機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう!

エンジンをかけたまま作業部に近づくと作業部に腕や足、衣服が巻き込まれる危険があります。

トラクターによる死亡事故のうち、**転落・転倒**による原因が約8割  
また、転落・転倒後に下敷きとなるケースが約6割を占めます!

県内の農作業死亡事故形態別発生状況  
(平成27～令和6年)

- トラクター
- 歩行トラクター
- 刈払機
- 運搬車
- その他農機具
- 農機具以外



特に注意!

### 令和6年に多発した農作業事故

春～夏

スピード・スプレイヤーで農薬散布作業中の死亡事故  
(令和6年 県内2件発生)  
主な原因:①樹木との接触、②傾斜面での急ハンドルによる横転からの下敷き

秋

コンバインでエンジンを停止しないまま、清掃作業等を行った結果、手指等を欠損する重大事故となった。

(福島県農業担い手課調べ)

## 福島県農作業安全運動展開中!

### 重点推進期間

【春】令和7年3月1日～5月31日 【秋】令和7年9月1日～10月31日

### 福島県農作業安全運動推進本部

福島県、福島県農業協同組合中央会、福島県農業共済組合、  
全国農業協同組合連合会福島県本部、全国共済農業協同組合連合会福島県本部、  
福島県農業機械商業協同組合、一般社団法人福島県農業会議、福島県担い手育成総合支援協議会